

翊

六年

画数 11
筆順

ヨ 翊 翊
オン ヨク

成り立ち



「翼(つばさ)」という字の省略された「羽」と、飛び立つ意味の「立」とを組み合わせて作った字です。「翼を羽ばたいて、鳥が「飛び立つ」ことを表した字です。

「日」が立つことを表した「昱」と、「翌」と音が同じなので、「翌」が「日」が立つ」という意味に使われるようになり、「日」が立った「次の日」の意味に使われるようになりました。「翌日」という言葉がこれです。

それで、「次の月」を「翌月」、「次の年」を「翌年」と言うようになりました。

使い方

▽ぼくはお母さんのいなかへこん虫取りに行きました。翌日は、雨が降りそうだったのでやめて、いとこたちとゲームをして遊びました。翌日は天気が良かったので、朝から出かけ、たくさんこん虫を取って来ました。

熟語例

- ▽翌日(次の日)
- ▽翌翌日(次の次の日。二日後)
- ▽翌週(次の週)
- ▽翌月(次の月)
- ▽翌年(次の年)
- ▽翌朝(次の日の朝)
- ▽翌晩(次の日の晩)
- ▽翌春(次の年の春)
- ▽翌翌(次の次)

乱

六年

画数 7
筆順

ニ 舌 乱
オン ラン
フン みだりすられる

成り立ち



「話」の意味を表した「舌(5年764)」と、「物事がまっすぐに進まない」意味を表した「し」とを組み合わせて作った字です。

「話が「こじれて」、正しく進まない」ことを表した字です。これが「争い」の起こる原因なので、「争い」「みだれ」の意味に使われます。例騒乱、反乱、乱世、混乱、乱調、乱筆、乱舞。

また、「濫(みだりに)」と同音なので、「濫」の代わりに使われます。例乱読、乱用、乱獲、乱費。

〔本字は「亂(敵)」で、彼我協調しようとしてうまく事が進まないことを表した字である。〕

使い方

▽算数の時間に、問題が出ました。先生がぼくに黒板で問題を解いてごらんと言うので、前に出て解き始めましたが、途中で頭が混乱して、わからなくなっていました。皆が見ていると、あがってしまいます。わたしは本が好きです。手当たりしだいに乱読するのですが、こういう読み方では、良い本に出会うのはそう多くはありません。だから、読書指導をしてくれると良いな、と思います。

熟語例

- ▽騒乱(世の中が騒がしく乱れること。)
- ▽反乱(主人にそむき争うこと。)
- ▽乱世(乱れて争いが続く世の中)
- ▽混乱(物事に秩序がなく、ごちゃごちゃと入り乱れている様子)
- ▽乱調(乱れた調子)
- ▽乱筆(乱暴な書き方)
- ▽乱舞(おどりくるうこと。)
- ▽乱読(手当たりしだいにたくさんの本を読むこと。)
- ▽乱用(むやみやたらに使うこと。)